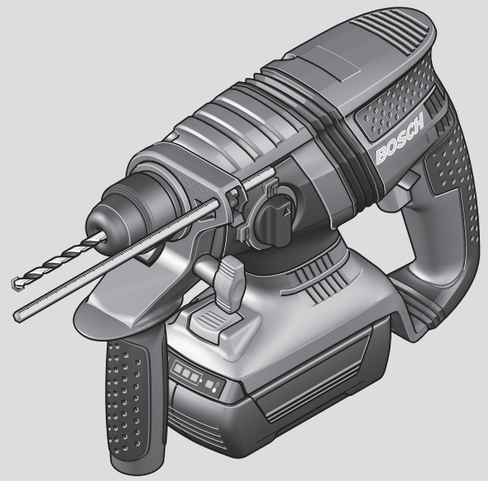
00-1 GBH36V-ECYH(改01) 表紙.ai 1 2014/12/05 15:08:41



ボッシュ株式会社 電動工具事業部
ホームページ：http://www.bosch.co.jp
〒150-8360 東京都渋谷区渋谷 3-6-7
コールセンターフリーダイヤル
0120-345-762
（土・日・祝日を除く、午前 9：00～午後 6：00）
＊ 携帯電話からお掛けのお客様は、TEL. 03-5485-6161 をご利用ください。コールセンターフリーダイヤルのご利用はできませんのでご了承ください。

1 609 92A 105
1 609 92A 105 (14.12)

バッテリーハンマードリル
GBH 36V-ECYH 型（本体のみ）

BOSCH

取扱説明書

このたびは、弊社バッテリーハンマードリルをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

- ご使用になる前に、この『取扱説明書』をよくお読みになり、正しくお使いください。
- お読みになった後は、この『取扱説明書』を大切に保管してください。わからないことが起きたときは、必ず読み返してください。
- 充電については、『充電器の取扱説明書』を併せてお読みください。

- 本取扱説明書に記載されている、日本仕様の能力・型番などは、外国語の印刷物とは異なる場合があります。
- 本製品は改良のため、予告なく仕様等を変更する場合があります。
- 製品のカタログ請求、その他ご不明な点がありましたら、お買い求めになった販売店または弊社までお問い合わせください。

目　次

●安全上のご注意

警告表示の区分 …… 2
バッテリー工具全般についての注意事項 …… 2
バッテリーハンマードリルについての注意事項 …… 9

●リサイクルのために

使用済みバッテリーのリサイクルにご協力ください …… 12

●本製品について

用　途 …… 13
各部の名称 …… 13
仕　様 …… 14
標準付属品 …… 15
使用可能バッテリー・充電器 …… 15

●使い方

バッテリー（別売）を準備する …… 16
作業前の準備をする …… 18
作業する …… 24

●困ったときは

故障かな？と思ったら …… 30
修理を依頼するときは …… 31

●作業前点検・お手入れ・保管

作業前点検 …… 32
使用後のお手入れ …… 32
保　管 …… 33

安全上のご注意

◆ 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐため、次に述べる『安全上のご注意』を必ず守ってください。
◆ ご使用前に、この『安全上のご注意』すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
◆ お読みになった後は、ご使用になる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
◆ 他の人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

警告表示の区分

ご使用上の注意事項は ⚠危険 、⚠警告 、⚠注意 に区分していますが、それぞれ次の意味を表わします。

⚠危険 ◆ **誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が大きい内容のご注意。**

⚠警告 ◆ **誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。**

⚠注意 ◆ **誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。**

なお、⚠注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

バッテリー工具全般についての注意事項

ここでは、バッテリー工具全般の『安全上のご注意』についてご説明します。今回お買い求めいただいたバッテリーハンマードリルには、当てはまらない項目も含まれています。

⚠ 危 険

1. 専用のバッテリー以外を使用しないでください。

◆ この取扱説明書に記載されているバッテリー以外は充電しないでください。

◆ 改造したバッテリー（分解して、セルなどの内蔵部品を交換したバッテリーを含む）を使用しないでください。

工具本体の性能や安全性を損なう恐れがあり、けがや故障、発煙、発火などの原因になります。

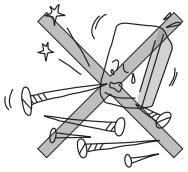
2. バッテリーを火中に投入したり、加熱したりしないでください。

3. バッテリーにくぎを刺したり、衝撃を与えたりしないでください。

4. バッテリーを分解したり、改造したりしないでください。

5. バッテリーの端子間を短絡させないでください。

◆ バッテリーを金属と一緒に工具箱やくぎ袋などに保管しないでください。



6. バッテリーを火のそばや炎天下などの高温の場所で充電・使用・保管しないでください。

発熱・発火・破裂の恐れがあります。

7. 専用の充電器以外では、充電しないでください。

◆ 他の充電器でバッテリーを充電しないでください。

バッテリーの液漏れや発熱、破裂の恐れがあります。

⚠ 警 告

1. 正しく充電してください。

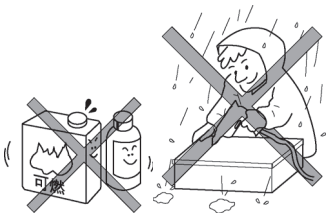
◆ この充電器は、定格表示してある電源で使用してください。直流電源やエンジン発電機では、使用しないでください。
◆ 温度が 0℃未満、または温度が 45℃以上ではバッテリーを充電しないでください。
◆ バッテリーは、換気の良い場所で充電してください。充電中、バッテリーや充電器を布などで覆わないでください。
◆ 充電器を使用しない場合は、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

2. 感電に注意してください。

◆ ぬれた手で電源プラグに触れないでください。

3. 作業場の周囲状況も考慮してください。

◆ バッテリー工具、充電器、バッテリーは、雨中で使用したり、湿った、またはぬれた場所で使用しないでください。
◆ 作業場は十分に明るくしてください。
◆ 可燃性の液体やガスのある所で使用したり、充電しないでください。



4. 保護めがねを使用してください。

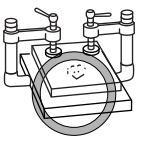
◆ 作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。

5. 防音保護具を着用してください。

◆ 騒音の大きい作業では、耳栓、耳覆い（イヤマフ）などの防音保護具を着用してください。

6. 加工するものをしっかりと固定してください。

◆ 加工するものを固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手でバッテリー工具を使用できます。



7. 次の場合は、バッテリー工具のスイッチを切り、バッテリーを本体から抜いてください。

- ◆ 使用しない、または修理する場合。
- ◆ 刃物、ビットなどの付属品を交換する場合。
- ◆ その他危険が予想される場合。

8. 不意な始動は避けてください。

- ◆ スイッチに指を掛けて運ばないでください。
- ◆ バッテリーを差し込む前にスイッチが切れていることを確認してください。

9. 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。

- ◆ この取扱説明書、およびボッシュ電動工具カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものは使用しないでください。

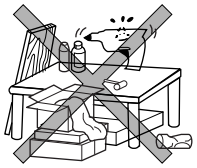
10. バッテリーの液が目に入ったら直ちにきれいな水で十分洗い、医師の治療を受けてください。

11. 使用時間が極端に短くなったバッテリーは使用しないでください。

⚠ 注 意

1. 作業場は、いつもきれいに保ってください。

ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。



2. 子供を近づけないでください。

- ◆ 作業者以外、バッテリー工具や充電器のコードに触れさせないでください。
- ◆ 作業者以外、作業場へ近づけないでください。

3. 使用しない場合は、きちんと保管してください。

- ◆ 乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、または鍵のかかる所に保管してください。
- ◆ バッテリー工具やバッテリーを、温度が 50℃以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。

4. 無理して使用しないでください。

- ◆ 安全に能率よく作業するために、バッテリー工具の能力に合った速さで作業してください。
- ◆ モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。

5. 作業に合ったバッテリー工具を使用してください。

- ◆ 小形のバッテリー工具やアタッチメントは、大形のバッテリー工具で行う作業には使用しないでください。
- ◆ 指定された用途以外に使用しないでください。

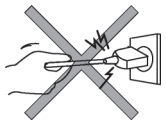
6. きちんとした服装で作業してください。

- ◆ だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので、着用しないでください。
- ◆ 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。
- ◆ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。

7. バッテリー工具は、注意深く手入れをしてください。

◆ 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
◆ 付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
◆ 充電器のコードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店、またはボッシュ電動工具サービスセンターに修理を依頼してください。
◆ 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
◆ 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースなどが付かないようにしてください。

8. 充電器のコードを乱暴に扱わないでください。



◆ コードを持って充電器を運んだり、コードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください。
◆ コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
◆ コードが踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷することがないように充電する場所に注意してください。

9. 無理な姿勢で作業をしないでください。

◆ 常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。

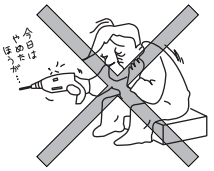
10. 調節キーやレンチなどは、必ず取り外してください。

◆ スイッチを入れる前に、調節に用いたキーやレンチなどの工具類が取り外されていることを確認してください。

11. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。

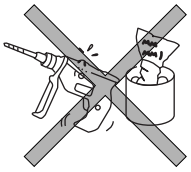
◆ 屋外で充電する場合、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

12. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。



- ◆ バッテリー工具を使用する場合は、取り扱い方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- ◆ 常識を働かせてください。
- ◆ 疲れている場合は、使用しないでください。

13. 損傷した部品がないか点検してください。



- ◆ 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- ◆ 可動部分の位置調整、および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響を及ぼすすべての個所に異常がないか確認してください。
- ◆ 電源プラグやコードが損傷した充電器や、落としたり、何らかの損傷を受けた充電器は使用しないでください。
- ◆ 損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。
  取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店、またはボッシュ電動工具サービスセンターに修理を依頼してください。
- ◆ スイッチで始動、および停止操作のできない/バッテリー工具は、使用しないでください。

14. バッテリー工具の修理は、専門店に依頼してください。

- ◆ サービスマン以外の人はバッテリー工具、充電器、バッテリーを分解したり、修理・改造は行わないでください。
- ◆ バッテリー工具が熱くなったり、異常に気付いたときは、点検・修理に出してください。
- ◆ この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- ◆ 修理は、必ずお買い求めの販売店、またはボッシュ電動工具サービスセンターにお申し付けください。修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

この取扱説明書は、大切に保管してください。

バッテリーハンマードリルについての注意事項

バッテリー工具全般の『安全上のご注意』について、前項ではご説明しました。ここでは、バッテリーハンマードリルをお使いになるうえで、さらに守っていただきたい注意事項についてご説明します。

⚠ 警 告

1. **使用するバッテリーは、取扱説明書に指定してあるものを装着してください。**
   ◆ 指定外のバッテリーを装着すると、ハンマードリル本体に支障をきたすばかりでなく、発煙・発火の原因になります。

2. **作業する個所に、電線管や水道管、ガス管など埋設物がないことを、作業前に十分確かめてください。**
   ◆ 埋設物があると、先端工具が触れたときに感電したり、漏電やガス漏れが発生したりして、事故の原因になります。

3. **使用中に振り回されないよう、ハンマードリル本体にしっかりとサイドハンドルを取り付け、本体を確実に保持し作業してください。**
   ◆ 確実に保持しないと、けがの原因になります。

4. **使用中は、先端工具や回転部、切り粉などの排出部に、手や顔などを近づけないでください。**
   ◆ けがの原因になります。

5. **フル充電されたバッテリーを複数個続けて使用する作業では、ハンマードリル本体が冷めるための時間を設けてください。**
   ◆ 複数個による連続作業は、本体に支障をきたすばかりでなく、本体の温度を上昇させて低温やけどをする恐れがあります。

6. **取扱説明書に記載されている用途、または能力以上の作業に使用しないでください。**
   特にモーターをロックさせるなどの無理な使用はしないでください。
   ◆ 発煙・発火の原因になります。

7. **使用中にハンマードリルの調子が悪くなったり、異常音がしたりしたときは、直ちに「電子無段変速スイッチ」を切ってください。使用を中止し、お買い求めの販売店またはボッシュ電動工具サービスセンターに点検・修理を依頼してください。**
   ◆ そのまま使用していると、事故の原因になります。

8. **誤って落としたり、ぶつけたりしたときは、先端工具やハンマードリル本体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。**
   ◆ 破損や亀裂、変形があると、事故の原因になります。

9. **石綿は、人体に有害です。このような成分を含んだ材料を加工するときは、防じん対策をしてください。**

⚠ 注 意

1. **先端工具や付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。**
   ◆ 確実でないと外れたりし、けがの原因になります。

2. **使用中は、軍手など巻き込まれる恐れがある手袋を着用しないでください。**
   ◆ 回転部に巻き込まれ、けがの原因になります。

3. **作業直後の先端工具や切り粉などは高温になっていますので、触れないでください。**
   ◆ やけどの原因になります。

4. **高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。**
   ◆ 材料やハンマードリル本体などを落としたとき、事故の原因になります。

5. **細径のビットは折れやすいので注意してください。**
   ◆ 飛散して、けがの原因になります。

6. **回転させたまま、台や床などに放置しないでください。**
   ◆ 事故の原因になります。

7. **コンクリートに穴あけを開始するとき、または軽破つりをするとき、コンクリートの小片が飛び散ることがあります。**
   ◆ 保護めがねを着用してください。

8. **コンクリートに細径の穴をあける際、急に切り粉が勢いよく噴き出すことがあります。**
   ◆ 保護めがねを着用してください。

9. **安全のため、ヘルメットおよび安全靴、騒音からの保護のため、耳栓をしてください。**

リサイクルのために

使用済みバッテリーのリサイクルにご協力ください

ボッシュは一般社団法人ＪＢＲＣに加盟し、使用済みバッテリー工具用バッテリーのリサイクルを推進しております。
恐れ入りますが使用済みのバッテリーは、ボッシュ電動工具取扱店、ボッシュ電動工具サービスセンター、またはＪＢＲＣリサイクル協力店へお持ちくださいますようお願いいたします。

【http：//www. jbrc. com】

Li-ion

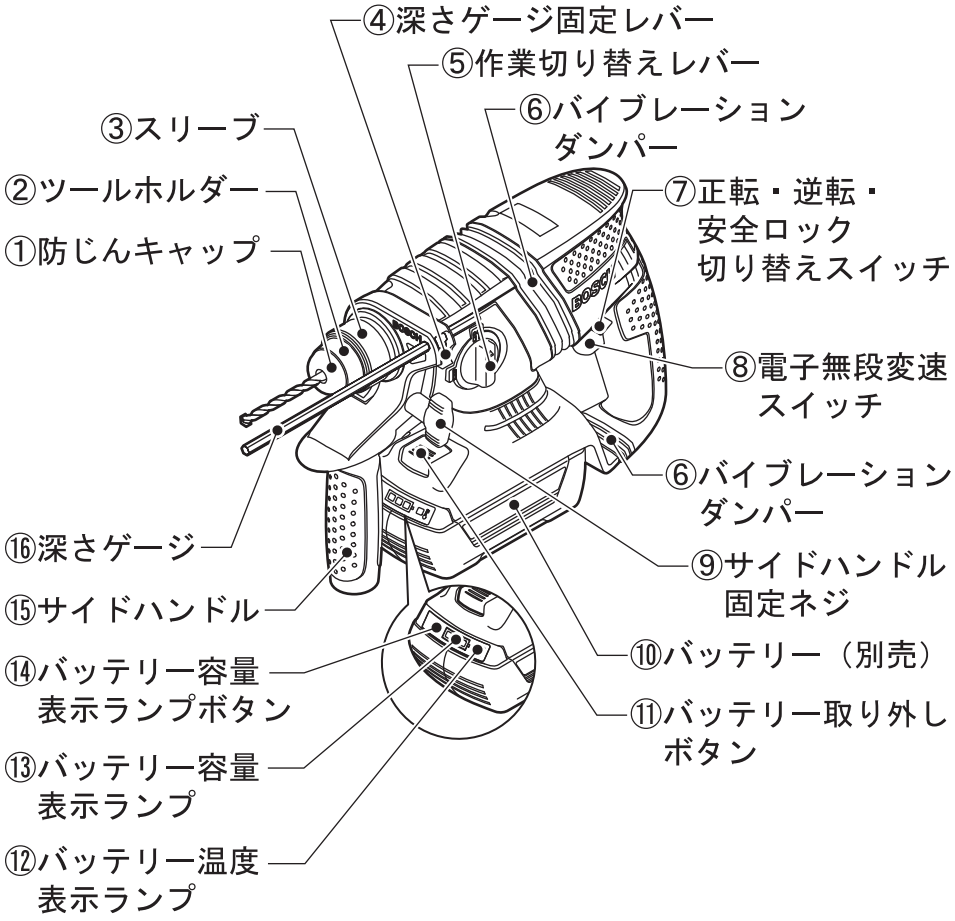
この電動工具は、リチウムイオンバッテリーを使用しています。リチウムイオンバッテリーは、リサイクル可能な貴重な資源です。使用済みバッテリーのリサイクル活動にご協力くださいますよう、お願いいたします。
ご使用済みのリチウムイオンバッテリーは、電動工具本体から取り外し、ショート防止のためバッテリー端子部に絶縁テープを貼ってお出しください。

本製品について

用　途

- ◆ コンクリートや石材、レンガなどの穴あけ
- ◆ 木材、金属、プラスチックなどの穴あけ
- ◆ コンクリートや石材などの軽度の破つり
- ◆ ネジの締め・緩め

各部の名称



◆イラストの形状・詳細は、実物と異なる場合があります。

仕　様

本　体

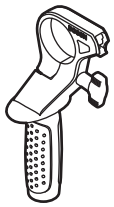
型　番	GBH 36V-ECYH
定格電圧	DC 36V
消費電力（入力）	430 W
回転数（無負荷時）	
正　転	0～1500 min^{-1}（回転／分）
逆　転	0～1500 min^{-1}（回転／分）
打撃数（無負荷時）	0～4850 min^{-1}（回転／分）
穴あけ能力（最大径）	
コンクリート	
SDS プラスビット S 4 使用時	18 mm
鉄　工	13 mm*
木　工	30 mm*
質量（バッテリーを含む）	2.9 kg
振動３軸合成値	
ハンマードリル時	16 m/s^2
金工穴あけ時	＜2.5 m/s^2 EN60745-2 規格に基づき測定
原産国	ドイツ

*13 mm 回転チャック（別売）または 13 mm ハンマーチャック（別売）使用時

バッテリー（リチウムイオン）

電　圧	36 V

標準付属品

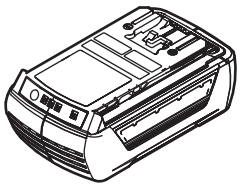


サイドハンドル

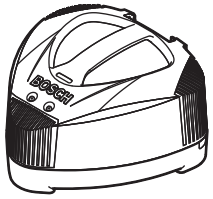
深さゲージ

◆イラストの形状・詳細は、実物と異なる場合があります。

使用可能バッテリー・充電器



リチウムイオンバッテリー



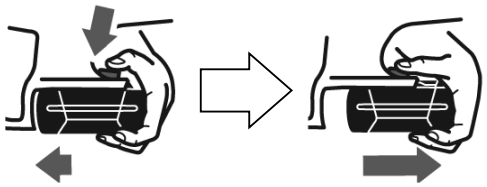
ファジーコントロール充電器

◆イラストの形状・詳細は、実物と異なる場合があります。

使い方

バッテリー（別売）を準備する

取り外す



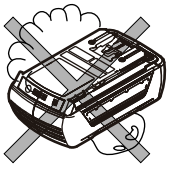
1. バッテリー⑩をハンマードリル本体の後方に押し込み、「バッテリー取り外しボタン⑪」を押します。

2. 「バッテリー取り外しボタン⑪」を押しながら、バッテリー⑩をハンマードリル本体から引き出します。

☞ 本機は、「バッテリー取り外しボタン⑪」を押しても、バッテリー⑩が外れないよう、バッテリー⑩の取り付けが二重ロックになっています。

点検する

- バッテリーは弊社指定のものか？
- バッテリーから液漏れが発生していないか？
- バッテリー端子が傷んでいたり、汚れていたりしていないか？
- バッテリーは十分に充電されていて、消耗していないか?



充電する

⚠ 警告 ◆ **破損防止のため、弊社指定の充電器を使って、バッテリーを充電してください。**

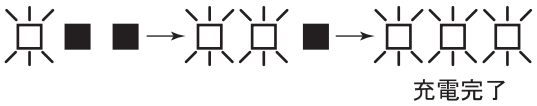
◆ **バッテリーが熱くなっているときは、冷えてから充電してください。**

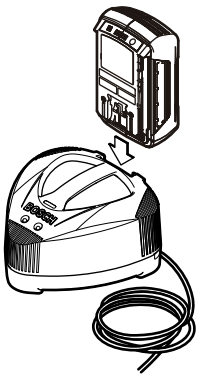
☞ 充電しても極端に作業時間が短い場合は、バッテリーが消耗しています。バッテリー⑩を交換してください。

1. 充電器の電源プラグを電源コンセントに差し込みます。

2. 充電器にバッテリー⑩を差し込んで、充電を始めます。
（『充電器の取扱説明書』参照）

   バッテリー充電中、充電が進むに従って「バッテリー容量表示ランプ⑬」が順番に点灯します。





「バッテリー容量表示ランプ⑬」は、充電完了後 5 分経過すると消灯します。

☞ 充電器にバッテリー⑩を差し込んだときに、バッテリー温度表示ランプ⑫が点灯する場合は、バッテリー⑩の温度が充電温度（0～45℃）の範囲外であるため充電することができません。
バッテリー⑩の温度が高いときは、充電器のファンが自動的に作動し、バッテリー⑩を冷却します。

3. 充電が終わったらバッテリー⑩を充電器から抜き、充電器の電源プラグを電源コンセントから抜きます。

作業前の準備をする

サイドハンドルを取り付ける・取り外す

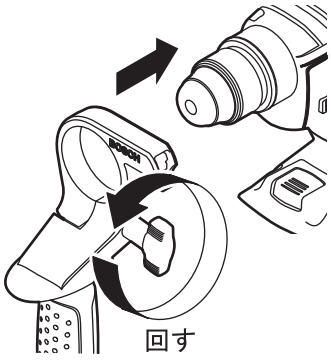
⚠警告 ◆ けがの発生を防ぐため、サイドハンドル⑮を取り付けたり取り外したりするときは、バッテリー⑩をハンマードリル本体から取り外してください。

⚠注意 ◆ 取り付けるときは、スリーブ③に触れないよう、しっかりと奥まで差し込んでください。スリーブ③に接触した状態で固定すると、スリーブ③が損傷します。

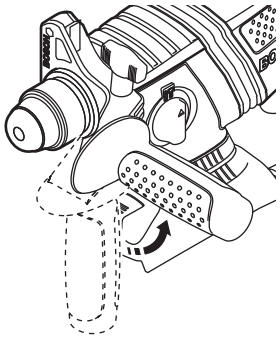
取り付け

1. サイドハンドル固定ネジ⑨を回して、サイドハンドル⑮を緩めます。

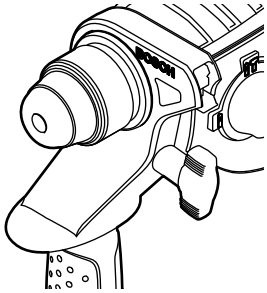
2. サイドハンドル⑮を本体に差し込みます。



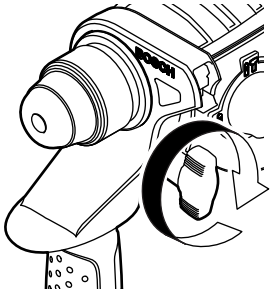
3. サイドハンドル⑮を回して、作業に適した位置に合わせます。
   ☞ 作業に適した位置にサイドハンドル⑮を固定すると、作業中に安定した姿勢が取れ、疲労を減らすことができます。



4. サイドハンドル⑮が、奥まではまっていることを確認します。



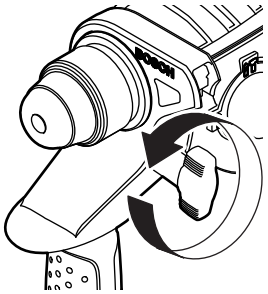
5. サイドハンドル固定ネジ⑨を回して、サイドハンドル⑮をしっかりと締めます。
この際、ガタつきがないか確認してください。



取り外し

1. サイドハンドル固定ネジ⑨を回してサイドハンドル⑮を緩めます。

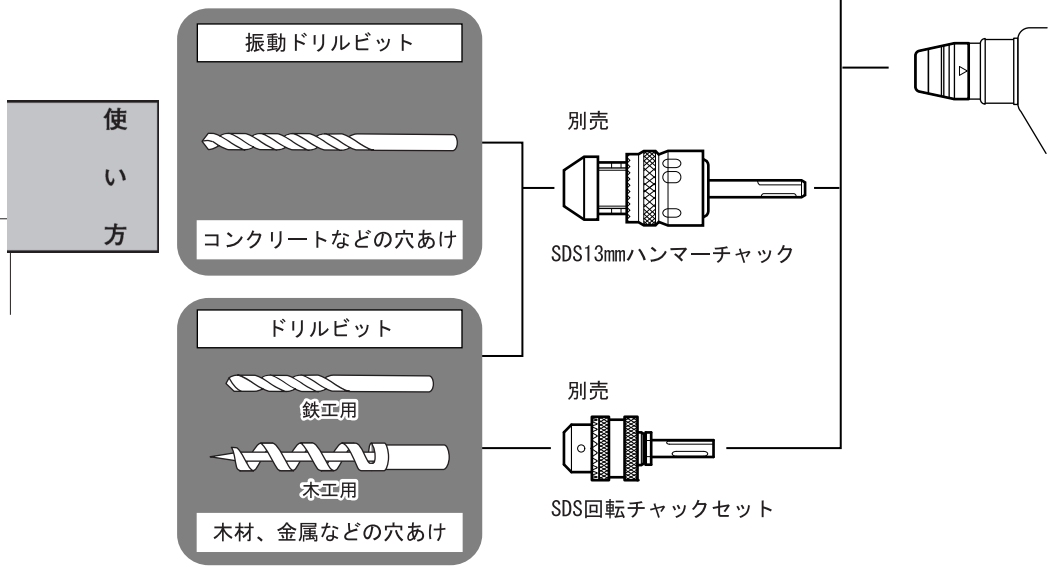
2. サイドハンドル⑮を本体から抜き取ります。



先端工具を選ぶ

SDSプラスシャンクの先端工具

ストレートシャンクの先端工具



SDS プラスシャンクの先端工具（または別売アクセサリー）を取り付ける・取り外す

⚠警告

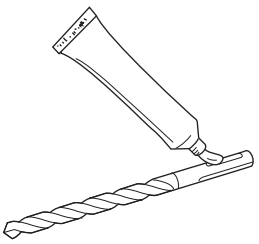
- ◆ けがの発生を防ぐため、先端工具を取り付けたり取り外したりするときは、バッテリー⑩をハンマードリル本体から取り外してください。

⚠注意

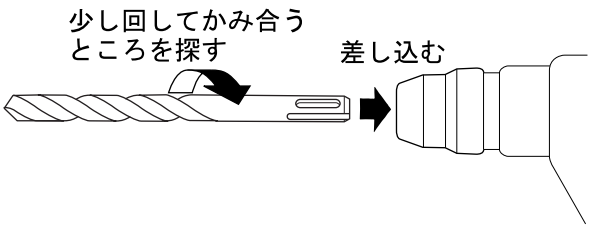
- ◆ 穴あけ直後の先端工具は高温になります。冷たくなってから、先端工具を取り外してください。
- ◆ 先端工具は、刃先に触れないように注意して扱ってください。けがの発生を防ぐため、手袋を着用して扱ってください。
- ◆ 本体の故障を防ぐために、防じんキャップ①に異常がないか確認してください。損傷がある場合は交換が必要です。（「修理を依頼するときは」を参照してください）

取り付け

1. 先端工具の挿入部分を清掃し、グリスを塗ります。

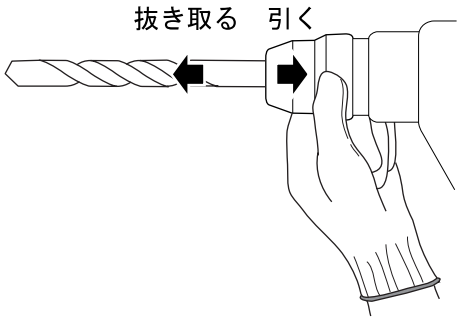


2. 先端工具を取り付け孔に差し込み、少し回してかみ合うところを探します。
3. かみ合ったところで、さらに深く差し込み固定します。
4. 確実に取り付けられたかどうか、先端工具を引いて抜けないことで確認します。



取り外し

スリーブ③を後方へ引きながら、先端工具を抜き取ります。



■GBH 36V-ECYH 型 + 別売アクセサリー

別売アクセサリーのSDS13㎜ハンマーチャックまたは13㎜固定チャック+SDS回転チャックアダプターを使用すると、市販のストレートシャンクの先端工具が使用できます。
別売アクセサリーをハンマードリル本体へ取り付けるときは、SDS プラスシャンクの先端工具の取り付けと同様に行います。(19 ページ参照)
別売アクセサリーの使用方法は、それぞれに付属する説明書をお読みください。

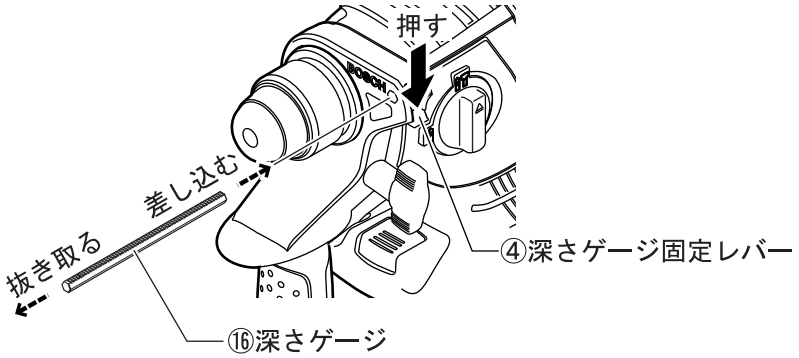
深さゲージを取り付ける・取り外す

取り付け（穴あけ作業時に役立つ）

「深さゲージ固定レバー④」を押しながら、深さゲージ⑯を差し込みます。

☞ 深さゲージ⑯のギヤ部分をサイドハンドル⑮のグリップ方向（下向き）に合わせて取り付けてください。

☞ 取り付け後、先端から押し込んで動かないことを確認してからご使用ください。



取り外し

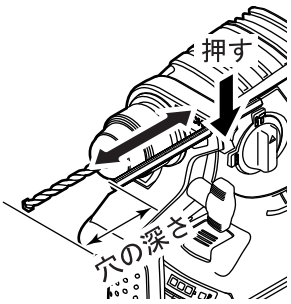
「深さゲージ固定レバー④」を押しながら、深さゲージ⑯を抜き取ります。

作業する

⚠警告 ◆ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、バッテリーを取り付ける前に、「正転・逆転・安全ロック切り替えスイッチ⑦」が安全ロックの位置（中央）になっていることを確認してください。

① 深さゲージを調節する（穴あけ作業時）

1. 「深さゲージ固定レバー④」を押しながら、あけたい穴の深さに合わせて深さゲージ⑯を動かします。
   ☞ ドリルビットをツールホルダーの後方に押し込んで、あそびのないことを確認してください。



2. 位置決めが終わったら、「深さゲージ固定レバー④」から指を離します。

使い方

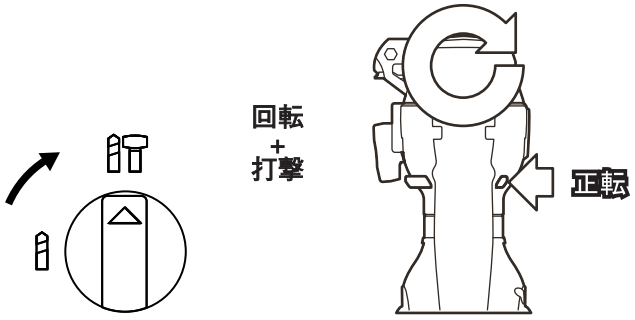
② 「作業切り替えレバー⑤」を作業に合わせた位置にしっかりと切り替える（次ページの図参照）

⚠注意 ◆ 本体の損傷を防ぐため、モーターの回転が止まった状態で、「作業切り替えレバー⑤」を切り替えてください。
「電子無段変速スイッチ⑧」を引き込んでいるとき、「作業切り替えレバー⑤」は切り替えないでください。

③ 「正転・逆転・安全ロック切り替えスイッチ⑦」を切り替える

⚠注意 ◆ 本体の損傷を防ぐため、モーターの回転が止まった状態で、「正転・逆転・安全ロック切り替えスイッチ⑦」を切り替えてください。「電子無段変速スイッチ⑧」を引き込んでいるとき、「正転・逆転・安全ロック切り替えスイッチ⑦」は切り替えないでください。

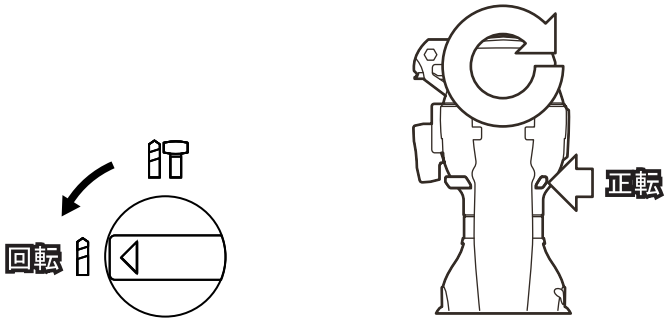
コンクリートや石材、レンガなどの穴あけ



作業切り替えレバー　　正転・逆転・安全ロック切り替えスイッチ

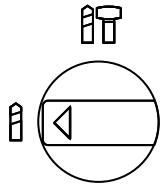
木材、金属、プラスチックなどの穴あけ

ネジの締め

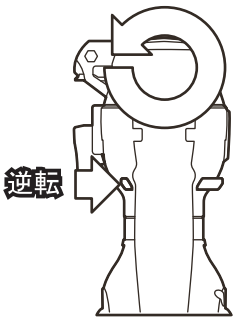


作業切り替えレバー　　正転・逆転・安全ロック切り替えスイッチ

ネジの緩め



作業切り替えレバー

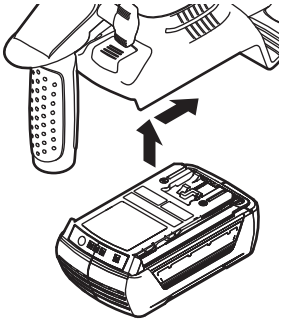


正転・逆転・安全ロック
切り替えスイッチ

④ ハンマードリル本体にバッテリーを取り付ける

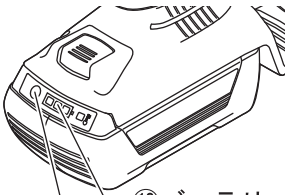
使い方

バッテリー⑩を、ハンマードリル本体のバッテリーの差し込み口にカチッと音がするまで押し込みます。



バッテリー充電状態表示

バッテリー⑩の充電状態をバッテリー容量表示ランプ⑬で、確認することができます。
「バッテリー容量表示ランプボタン⑭」を押すと、バッテリー容量表示ランプ⑬が点灯します。
バッテリー容量表示ランプ⑬は 5 秒間点灯後、自動的に消灯します。



⑬バッテリー容量
表示ランプ
⑭バッテリー容量
表示ランプボタン

バッテリー容量表示ランプ	バッテリー容量
3つ点灯	2/3 以上
2つ点灯	1/3 以上
1つ点灯	1/3 未満
1つ点滅	要充電

☞ 「バッテリー容量表示ランプボタン⑭」を押しても、バッテリー容量表示ランプ⑬が 1 つも点灯しないときは、バッテリーが損傷しています。
バッテリーを交換してください。

☞ 充電状態は、バッテリー⑩を本体から取り外していても確認できます。

⚠注意 **◆ バッテリー⑩の充電状態を確認するときは、必ず本体の作動を停止させてください。**
先端工具を回転させたまま確認すると、けがの原因になります。

バッテリー温度モニタ

バッテリー温度表示ランプ⑫は、バッテリー⑩またはバッテリーを装着した本体が最適な温度範囲内にあるかどうかを知らせます。
温度が高すぎると、本体は本来の能力を発揮しない場合があります。

「バッテリー容量表示ランプボタン⑭」を押したときに、バッテリー温度表示ランプ⑫が点灯する場合は、バッテリーの温度が作業可能温度の範囲外です。
作業可能温度範囲内になるまでバッテリーは使用できません。

5 「電子無段変速スイッチ⑧」を操作する

⚠警告

- **作業中に振り回されないよう、ハンマードリル本体にサイドハンドル⑮を取り付けてください。両手で本体のグリップとサイドハンドル⑮をしっかり保持し、作業してください。**

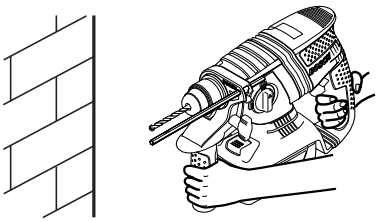
⚠注意

- **作業時、ハンマードリル本体は軽く押すだけで十分です。必要以上に強く押しつけると、先端工具を傷めて作業効率が下がったり、本体が故障したりします。**
- **穴あけ直後の先端工具は高温になります。やけどを負う恐れがありますので、触れないでください。**
- **長いネジを締めるときは、ドライバービットがネジから外れないように注意してください。**
- **先端工具が材料に引っ掛かったり、斜めに進んだりすると、過負荷クラッチの働きにより回転が止まります。ハンマードリル本体の損傷を防ぐため、先端工具を引き抜く前に本体を先端工具から取り外してください。**

本機には、電子セル保護システム（ECP 機能）がついております。本体が過負荷になった場合やバッテリーが過放電または高温になった場合には、バッテリー保護のために本体が自動的に停止します。
上記の状態が解消されると、再始動することができます。
本体が停止している状態で「電子無段変速スイッチ⑧」を引き込み続けると、故障の原因になります。

穴あけ

1. 先端工具を材料に当てます。
2. 「電子無段変速スイッチ⑧」を引き込みます。



☞ 「電子無段変速スイッチ⑧」の引き込む加減で、回転数・打撃数が調節できます。

☞ 止めるときは、「電子無段変速スイッチ⑧」から指を離してください。ブレーキの働きにより、あけ過ぎを防ぎます。このとき、通風口内から火花が発生する場合がありますが、異常ではありません。

ネジ締め

1. 先端工具のネジ頭を溝に合わせます。
2. 「電子無段変速スイッチ⑧」を引き込みます。

☞ 「電子無段変速スイッチ⑧」の引き込む加減で、回転数が調節できます。

バイブレーションコントロール

バイブレーションダンパー⑥により、穴あけ作業時の手に伝わる振動を約25%減少させます。(当社従来比)

困ったときは

故障かな？と思ったら

① 『取扱説明書』を読み直し、使い方に誤りがないか確かめます。
② 充電については、『充電器の取扱説明書』を読み直します。
③ 次の代表的な症状が当てはまるかどうか確かめます。

症　状	原　因	対　処
「電子無段変速スイッチ⑧」を引き込んでも、回らない	バッテリー⑩が消耗している	バッテリー⑩を充電するか、交換する
	バッテリー⑩の温度が 60℃を越えている	バッテリー⑩が最適温度範囲内に下がるまで待つか、交換する
	本機の温度が 90℃を越えている	許容操作温度範囲内に下がるまで待つ
「電子無段変速スイッチ⑧」が引き込めない	「正転・逆転・安全ロック切り替えスイッチ⑦」が“安全ロック”または、中途半端な位置になっている	“正転”か“逆転”の位置にしっかりと切り替える
穴あけなどに時間がかかる（穴があかない）	先端工具が摩耗している	先端工具を研磨するか、交換する
	バッテリー⑩が消耗している	バッテリー⑩を充電するか、交換する
	「正転・逆転・安全ロック切り替えスイッチ⑦」が“逆転”の位置になっている	「正転・逆転・安全ロック切り替えスイッチ⑦」を“正転”の位置に切り替える
充電しても、フル充電しない。または、フル充電しても、使用時間が短い	バッテリー⑩の寿命が尽きた	バッテリー⑩を交換する

修理を依頼するときは

◆ 『故障かな？と思ったら』を読んでもご不明な点があるときは、お買い求めの販売店または弊社コールセンターフリーダイヤルまでお尋ねください。
◆ 修理を依頼されるときは、お買い求めの販売店またはボッシュ電動工具サービスセンターにご相談ください。
◆ この製品は厳重な品質管理体制の下に製造されています。万一、本取扱説明書に書かれたとおり正しくお使いいただいたにもかかわらず、不具合（消耗部品を除きます）が発生した場合は、お買い求めの販売店または、ボッシュ電動工具サービスセンターまでご連絡ください。
弊社で現品を点検・調査のうえ、対処させていただきます。お客様のご使用状況によって、修理費用を申し受ける場合があります。あらかじめご了承ください。

コールセンターフリーダイヤル 0120-345-762

土・日・祝日を除く、午前 9：00～午後 6：00
※携帯電話からお掛けのお客様は、TEL. 03-5485-6161 をご利用ください。
コールセンターフリーダイヤルのご利用はできませんのでご了承ください。

ボッシュ株式会社ホームページ　http://www.bosch.co.jp

ボッシュ電動工具サービスセンター

〒360-0107　埼玉県熊谷市千代 39
TEL 048-536-7171　FAX 048-536-7176

ボッシュ電動工具サービスセンター西日本

〒811-0104　福岡県糟屋郡新宮町的野 741-1
TEL 092-963-3486　FAX 092-963-3407

作業前点検・お手入れ・保管

バッテリーハンマードリルを末永く、また安全にお使いいただくために作業前点検と作業後のお手入れをしていただき、保管していただくことをお勧めいたします。

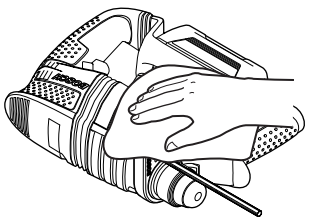
⚠警告 **◆ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、バッテリーをハンマードリル本体から取り外し、点検、お手入れしてください。**

作業前点検

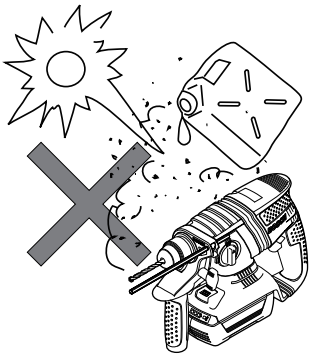
- 電子無段変速スイッチ、正転・逆転スイッチは正常に作動するか？
- サイドハンドル、深さゲージは、確実に取り付けられていて、ガタつきはないか？
- 充電器の電源プラグ、コードが破損していないか、また何らかの損傷を受けていないか？
- バッテリーが本体に確実に装着されているか？
- バッテリーから液漏れが発生していないか、またバッテリー端子が傷んだり、汚れたりしていないか？

使用後のお手入れ

- 通風口やスリーブなどに付いたゴミ、ホコリを吹き飛ばす
- 乾いた布、柔らかい布で本体、バッテリーの汚れをふき取る
  変色の原因になるベンジンなど、溶剤を使わないでください。
- バッテリー取り外しボタンやバッテリー装着部分についたゴミ、ホコリなどを吹き飛ばす
- ツールホルダーの先端工具挿入部分を清掃する



保　管

ハンマードリルを使った後は、バッテリーを取り外し、きちんと保管する

- 子供の手が届くところ、または錠が掛からないところに置かない。
- 風雨にさらされたり、湿度の高いところに置かない。
- 直射日光が当たったり、車中など高温になるところに置かない。特に、バッテリーは 50℃以上になるところに置かない。
- ガソリンなど、引火性が高いものの近くに置かない。
- ショートを防ぐため、バッテリー端子に絶縁テープを貼ってください。